

森

の通信

宮崎県総合博物館
発行日/平成11年3月1日

発行/県総合博物館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番4号TEL (0985)24-2071

わくわくどきどき! 宮崎の自然と歴史のビジュアル立体大図鑑

リニューアルした宮崎県総合博物館

宮崎市神宮の森の一角に県民の期待に添えて県総合博物館が昨年5月1日に堂々とリニューアルオープンし、本年1月までの入館者は8万人を超えました。楽しく開かれた博物館をめざして常設展示を中心に、教育普及棟、収蔵庫、エントランスなどの増改築も含め宮崎県総合博物館が一新しました。その一部を紹介しましょう。

展示場はリニューアル前の約3倍、展示資料も約10倍の6,000点となっています。各所に、見るだけでなく触って動かす模型、森の中の匂いクイズ、森の音・動物の鳴き声を聴くコーナーが設置され、五感で感じとる展示はまさに「わくわくどきどき」です。さらに楽しく分かりやすくするためにビデオが37台もあり、いろいろな動く映像が展示内容を理解し易くしています。特に照葉樹林シアター、地球シアターや神楽シアターの大型画面は迫力満点です。コンピューターも13台設置され、いろいろな情報を提供し、専門家にとっても見応えのあるものとなっています。オリジナルのテレビゲーム「虫の生き残りゲーム」は子ども人気の的でした。



ボトムジオラマ「サンゴの海」

スーパージオラマ「照葉樹林」

博物館館内は1階が自然史展示室、2階が歴史展示室・民俗展示室という配置になっています。「自然史」は宮崎の森、水辺、大地、生き物、ふるさとの自然で構成され、大地では実物大のティラノサウルスの化石レプリカが迫ってきます。「歴史」は旧石器時代から縄文・弥生を経て現代までの庶民の暮らしの変化を学びます。弥生時代の実物大の住居「花びら型住居」には驚かされ、昭和30年代の「文化住宅」は昔ながらの食器やタンスが並び、上がり込んで郷愁を味わうことが出来ます。「民俗」は山・里・海の暮らしと折りと祭りのコーナーで構成され、国指定の重要有形民俗文化財をふんだんに配置し、随所に映像と実物大の模型がおかれ、道具の使い方が一目で分かるように工夫された展示となっています。最後の折りと祭りのコーナーには「神楽シアター」が設置され、

土器の復元ゲーム

物(もの)の収集・保存は博物館の重要な仕事です。それを保管する収蔵庫も手狭になっていましたので、大幅に改修し、国指定の重要有形民俗文化財の「日向の山村生産用具」を収める収蔵庫も増築し、収蔵面積も1.5倍になりました。また生涯学習の拠点になるよう、これまでの美術展示室を改修し、教育普及施設も完成しました。特に、みんなの情報室には体験コーナー、自ら調べるための植物・昆虫・貝・岩石の標本コーナー、書籍コーナーなど無料で気軽に利用できる施設となっています。また、エントランスには県内全市町村の文化財や文化施設や花ウォッチングなどの情報が検索できるコンピューターが設置されています。



昔懐かしい時代の広場



何という鳥の鳴き声



ビデオで道具の使用方法を見る



照葉樹林林床のボトムジオラマ



地球シアターとティラノサウルス

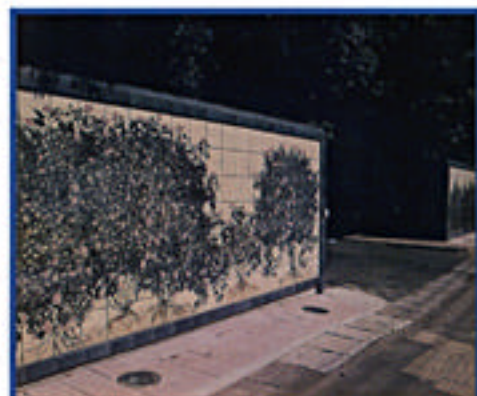
館周辺の整備も同時に実施しました。本館は神宮の森に囲まれその存在が外部から見え難いこともあり門をモニュメンタ的な特徴のあるものにする必要があり、西北両門にシンボリックな陶板をあしらいました。さらに、県民文化ホール、駐車場、前庭なども整備しました。内部のソフト面も外部の箱ものも一新した「宮崎の自然と歴史のビジュアル立体大図鑑」となった宮崎県総合博物館に是非お出かけ下さい。



エントランスの情報コーナー



みんなの情報室の標本コーナー



ヒュウガアジサイの陶板をあしらった西門

「石灰岩に生きる植物～白い岩に咲く花」展

宮崎県の北西部には石灰岩が点々と見られます。五ヶ瀬町の白岩山、日之影町の戸川岳・洞岳などでは規模の大きい石灰岩を見ることができます。

現在、石灰岩はセメントをはじめ、人の生活の中であらゆる方面で利用されており、石灰岩の存在なしには人の生活は成り立たない状態になっています。

石灰岩は植物にとって決して住みよい環境とはいえませんが、そこには私たちが普段見ることができない特有な植物たちが数多く生活していることが知られています。この展示では、宮崎の白い岩～石灰岩とそこにすむさまざまな可憐で貴重な植物たちを紹介します。

開催期間 平成11年7月31日(土)～8月29日(日) (予定)



イワギク(五ヶ瀬町白岩山)

「大鳥展」

最初の鳥類が現れてから現在まで、大空を制覇した鳥類は、地球上のあらゆる環境を利用して生活しています。この展示会では、鳥類の起源を探るとともに巨鳥から私たちが知ることが少ない鳥の姿まで、これまでにない大規模な企画で鳥の情報を標本とメディアを用いて展開しようとするものです。きっと、すばらしい鳥の世界に誘い込まれることでしょう。

開催期間 平成11年10月9日(土)～11月14日(日) (予定)



絶滅鳥類(ドードー)

「みやざきの技」～木・竹・草と民具～

民俗資料は、人々の生活を知るうえで、不可欠なものであり、厳しい自然の中で生きぬいてきた人々の生活を物語る貴重な文化財です。これらの資料からは、人々の生活の知恵や自然とのたくみなかわりを探ることができます。

そのことは、人々のくらし、文化を見つめ直すことでもあります。

本企画展は、本県において、木・竹・草など身近な素材を利用して作られた民具に焦点をあて、さまざまな素材・工程ごとの製作用具・完成した製品の数々を実際の資料に写真や映像などを合わせて、また伝えられてきた技の細部にせまる実演を交えながら一堂に展示紹介するものです。

本企画展では、素材を見極める技・製作用具を使って加工する技・製品を完成させる技など人々の生活の知恵や工夫を見直そうとするものです。

さらに、豊かな自然環境と長い歴史の中から育まれた、「技」と「術」と「心」が一体となって先人たちの手から手へと現在に伝えられている様相を明らかにしようとするものです。

開催期間 平成12年1月22日(土)～2月20日(日) (予定)

平成11年度 西都原資料館コーナー展(予定)

平成10年度出土資料展(考古)

5月25日(火)～8月22日(日)

昨年度の発掘調査により出土した埴輪などの資料を紹介します。

下水流臼太鼓踊展(民俗)

8月24日(火)～9月12日(日)

西都市下水流地区に伝承されている臼太鼓踊を紹介します。

銀鏡臼太鼓踊展(民俗)

11月9日(火)～11月28日(日)

西都市銀鏡地区に伝承されている臼太鼓踊を紹介します。



下水流臼太鼓踊(県指定無形民俗文化財)

—化石・地層ウォッチング—

久峰から宮崎の生い立ちが見える

11月14日の第2土曜日に宮崎の地形・地質観察会を実施しました。化石や地層を観察しながら宮崎の大地がどのようにできたのかを調べ、体感する講座です。

今回は、佐土原町立久峰中学校を起点にして、久峰公園周辺を会場にしました。

久峰周辺には、今から約200万年前の海底谷のようすとそこに堆積した土砂が見られます。当時西都市妻付近に堆積していた貝類や砂や



小石が、何らかの原因で周囲を削り取りながら、流れ下り堆積したのです。見つかった化石は主に二枚貝や巻貝で保存の良いものです。参加者の中には、クモヒトデの



化石を見つけた人もいました。楽しみながらの大地の勉強でした。

来年も楽しく一緒に勉強したいと思います。

西都原古代生活体験館

体験講座案内 TEL.0983(43)5002

- 常設講座 (いつでもできます。)
- 普及講座 (年4回、新聞等で募集します。)
- 夏休み半日講座 (夏休み期間中の水・木・金に行きます。)
- 古代おもしろ講座 (最新の実験考古学情報を講師を招いてお届けします。)
- 古代体験少年団活動 (古代人の知恵を身につけます。4月に募集します。)

平成10年度実施普及講座

- ① 変わりまが玉を作ろう (動物の形に挑戦！)
- ② 弓矢作りと古代食 (狩猟した気分でお料理！)
- ③ 古代の服を作ろう (古墳時代の服でポーズ！)
- ④ 土甎・土偶を作ろう (野焼で焼いたよ！)



土笛づくり

平成11年度講座(予定)

※詳しくは年度当初配布のちらしをご覧ください。

月	博物館本館	古代生活体験館・西都原資料館
4	自然保護講座「ウェットランドの植物の現状①」、ふるさと講座	古代おもしろ講座「教科書にない宮崎の古代」
5	野鳥観察会①、干潟の生き物観察会、自然保護講座「ウェットランドの植物の現状②」子ども自然史展示探検クイズ①	石で作る装飾品、古代体験少年団
6	野外調査会(昆虫①)、土の中の宝物を探そう、親子で探訪「西都原古墳群①」、植物画を描こう	古代体験少年団「骨の加工」磨製石器づくり
7	野外調査会(昆虫②)、磯の観察会、植物の標本を作ろう、昆虫の標本を作ろう、化石・岩石の標本を作ろう	夏休み半日講座、古墳めぐり
8	野外調査会(昆虫③)、子ども民俗教室、宮崎の地形・地質観察会、微化石を探そう、採集作品の名前を調べる会	夏休み半日講座、古代体験少年団「古代人になろう」
9	自然保護講座「ウェットランドの植物の現状③④」、野外調査会(きのこ①)、古代生物教室	古代体験少年団「音を作ろう」
10	野外調査会(きのこ②③)、漁村の歴史と民俗調査、照葉樹林探検、なにができるかな？遺跡発掘体験隊	古代体験少年団「食材探検」、西都原周辺の歴史と民俗
11	親子で探訪「西都原古墳群②」、子ども自然史展示探検クイズ②、宮崎の民俗～いのりとまつり～	古代人の秋祭り、古代染色
12	野外調査会(昆虫④)、野鳥観察会②	縄文ポシェット作り、少年団、「清掃ボランティア」
1		古代体験少年団「縄文土器」
2	自然史展示特別解説会、歴史教室「あなたの宝物館」	古代おもしろ講座、古代体験少年団「野焼き」
3		古代体験少年団「アルバム制作」

～友の会入会のご案内～

博物館を積極的に利用し、広く宮崎の自然と歴史に親しむとともに会員相互の親睦をはかることを目的とした皆さんの会で、どなたでも入会できます。

◆あなたも自然と歴史・新しい人との出会いを楽しんでみませんか◆

会費(年間)は

個人会員 小中学生：1,000円
高校生以上：2,000円

家族会員 2,500円：何名でも結構です。

賛助会員(企業・団体等)：10,000円

会員の特典は

- 無料で展示を観覧できます。
- 友の会主催の行事に参加できます。
- 会報、博物館の各種催しの案内を受けることができます。
- この会で発行する刊行物を割引価格で購入できます。